

8月28日(月)

主よ、私を真の友としてください

聖書朗読 ヨハネ 7：1～5

滅びにいたらせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。

箴言 18：24

かわいそうなヨブ。たぶん彼は妻や友人から背かれるとは思ってもみなかったことでしょう。しかし、すべてを知るイエス様にはこれから自分に起こることが分かっていました。エルサレムに到着すれば、歓迎する群衆にまじって、刺客が待っていることも知っていました。イエス様の義理の兄弟たちはイエス様を信じるとみせかけて「身を隠さないで公然と説教しなさい」と助言しました。義理の兄弟たちの助言は利己心から出たものです。イエス様が家族から裏切られたのは一度だけではありません。

私はテキサスの姉妹にこんなメッセージを送りました。今日の日に神様のめぐみがあなたを通してあらわれますように。あなたのことを思っています！ フェイスブックで出会うほとんど知らない数百人の友人たちとは違い、このテキサスの友人のことを私はよく知っています。彼女はすばらしいクリスチャンで神様を深く信仰しています。主よ、私が裏切ったり、フェイスブックで出会う友人ではなく、あなたの本当の友人となれるように助けてください。あなたが愛したように互いに愛し合うことによって、イエス様の真の友人となれるように助けてください(ヨハネ15：12)。そして私が、他人に対し誠実で協力的な友人となれるように教えてください。

讃美歌 312

祈り お父様。私をあなたの友と呼んでくださってありがとうございます。それを当然のこととしてしまう私をお赦しください。今日の日にあなたと共に歩む恵みをください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビル・アドコックス
オクラホマ州 ベタニー

今日の力

2017年8月28日～9月3日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月29日(火)

天 国 の 光

聖書朗読 ヨハネ 8：12～20

しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

I ヨハネ 1：7

今日の朗読の中に私たちは光の源を見ることができます。それはイエス様です！しかし、見ることができない人たちもいます。その人たちがもし誠実にイエス様に質問していれば、イエス様は違う風に答えられたかもしれません。

パリサイ人たちは、イエス様をにせ者として逮捕しました。イエス様の証言は真実でしたが、パリサイ人たちはそう思いませんでした。イエス様は、ご自分の父親のために、そしてご自分のために正当性を主張なさいました。

パリサイ人たちは、イエス様に父親とはだれでどこにいるのかと問いました。彼らには神様が誰なのか、誰が彼らに話しているのか、全くわからず、また分かれようとしませんでした。彼らがしようとしたことは、主の信用を傷つけようとするだけでした。

救い主が話しかけると、私たちはそれを聞こうとしているのでしょうか。それとも、自分のことだけを考えているのでしょうか。天からの知恵を得るよりも自分自身を頼りますか。今日の日に、光の源と真実を求めましょう。

讃美歌 515

祈 り お父様。私に聞く耳がないときも、あなたを聞くことができますように助けてください。あなたの道が最良であると、私が信じられますように。
イエス様の御名のもとに。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴアッド
カリフォルニア州 ブライゼ

8月30日(水)

どうしても安心できないときは聖書朗読

聖書朗読 ヨハネ 11：1～44

また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。

ヨハネ 11：26

私は病院のICU（集中医療室）に座りながら、夫を見守っていました。夫は難しい病気で身体が麻痺し、昏睡状態に陥っていました。もう何か月も夫の声を聞いていませんでした。

それでも神様が私を落ち着かせ、励ましてくれました。これから私たち二人の身に何が起こるかわかりませんが、二人とも、イエス様の船に乗っていることはわかっています。夫が病気になる前に、イエス様は私たちを決して去ったり見捨てたりしないと約束してくださいました。私たちが直面しているのは、信仰の半ばに起こる迷いなのです。

聖書の主人公たちはすべて、迷いに直面しました。神様は最初にお約束、または命令をくださいます。しかしまもなく迷いが始まります。何度も何度も、神様のお約束が実行されるのかどうか、神様の命令に従っていてよいのか、思い返すのです。

聖書に描写された人々の迷いについて読み返してごらんください。アブラハムとサラは子をなすには老いていました。パロの軍隊はパワーを誇っていました。エリコの壁は堅固すぎました。ゴリアテは大きすぎました。ネブカデネザル王の火の燃え炉は熱すぎました。

しかし、神様だけが私たちの「不可能な」状況を解決することができるのです！

讃美歌 187

祈 り 親愛なる主よ。イエス様がよみがえったことが、神による不可能はないということばの証明となりますように。イエス様を死から蘇らせることができる方なら、何でもできます。どんな不可能な状況でもあなたはそれを解決し、いつも私にとって最良なことをしてくださいと信じます。

イエス様の御名において。アーメン。

ラティン・C・スコット
ニューメキシコ州 アルバカーキ

8月31日（木）

暗やみが支配するとき

聖書朗読 ヨハネ 13：18～30

あなたがたは、わたしが毎日宮でいっしょにいる間は、わたしに手出しをしなかった。しかし、今はあなたがたの時です。暗やみの力です。 ルカ 22：53

ヨハネの朗読箇所は、なんとも荒々しく終わっているような気がします。これは夜に起こったのです。神様を礼拝する人たちが集う聖夜であったはずです。神様が彼らの先祖たちに与えた恵みについて思い起こす夜だったはずです。家族や友人たちが集い、パンを分け合いながら、神様の恵みを祝うはずの夜です。しかし、それが一瞬で変わりました。ユダが銀貨30枚でイエス様を裏切ったのです（マタイ26：15）。

楽しい記憶となるはずの夜が、裏切りの夜へと変わりました。サタンが欲深い人の心に働いて、恐ろしい結果を引き起こしたのです。その夜については、イエス様でさえ『私を裏切る者の手が』（ルカ22：21）と言っています。イエス様はその夜の時のことを、『暗やみの力です』と呼んでいます。

しかし、暗やみの力は長くは続きません。イエス様は弟子たちが嘆き悲しむことを知っていました。それで、『あなたがたの悲しみは喜びに変わります。』（ヨハネ16：20）と言ってくださいました。また、『わたしはもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。』（ヨハネ16：22）とも言われました。神様は私たちの暗やみの夜を知っておられます。ある日、暗やみの力は去り、喜びが私たちに返るのです！

讃美歌 276

祈り 恵み深きお父様。暗やみであなたの光が輝き、私たちの人生を暗やみから光に、サタンの力から神の力へと変えてくださることに感謝します。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

ロン・ガズマン

テキサス州 オースティン

9月1日（金）

主は私たちに場所を備えられている

聖書朗読 ヨハネ 14：1～4

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。 ヨハネ 14：2

クリスマスの後、毎年家族で行くスキーに行った時のことです。山々は雪に覆われて本当にきれいでした。本当に帰るのが惜しいくらいでした。私たちは皆、旅行して、日常から離れた時間を楽しみますが、その後では自分の普段の生活に戻ります。旅行で一番すばらしいのは誰かと一緒に、人生と美と喜びを、分かち合うことができるということです。一緒にヘラジカを見たり、リフトに乗っておしゃべりしたり、雪山をスキーで滑ったり、山小屋の近くにある池でアヒルに餌をやったり。食べたり、笑ったり、遊んだりと一緒にできることです。

さて、家族と一緒に楽しんでいるときに、「もうすぐ私はあなたがたを去らなければなりません。来年のスキーの時も私を思い出してくれますか」と誰かが言い出したらどうしますか。

イエス様がこう言われるのを聞いた弟子たちはどんなにつらかったことでしょう。『まだしばらくの間、わたしはあなたがたといっしょにいて、それから、わたしを遣わした方のもとに行きます。あなたがたはわたしを捜すが、見つからないでしょう。また、わたしがいる所に、あなたがたは来ることができません。』（ヨハネ7：33～34）。弟子たちは悲しみ、混乱し、悩みました。

しかし、それからイエス様はこう言われたと、私は思うのです。「心配しないで、私を信じなさい。私の父を信じなさい。私の父の家は大きく、多くの部屋があるので。私はあなたがたのために部屋を整えに行きます。そしてずっと一緒に暮らすために、あなたを迎えに来ます」。

讃美歌 486

祈り 親愛なる主よ。あなたがおられる所に私もいることができますように。あなたを信頼しあなたのお約束を信じます。あなたと永遠にすることができるように私たちに場所を備えてくださることに感謝します。

あなたの御子を通して祈ります。アーメン。

カーティス・K・シェルバーヌ

テキサス州 ムールショー

9月2日(土)

友 情 を 育 て る

聖書朗読 ヨハネ 15:9~17

わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。 ヨハネ 15:15

友だちは知人以上の存在です。知人とは単に知っているというだけで、友人になれば信頼で結ばれます。イエス様は弟子たちに友人として話しかけました。それは私たちにも、主の友だちとなれる可能性があるということです。何とすばらしいことでしょう！

しかし、神様はフェイスブックや街角のカフェやゴルフ場で出会うような友だちではありません。他の誰とも違う聖なる友だちです。この友だちをいい加減に扱えば、事故をおこしてしまうでしょう。

アブラハムは『神の友』と呼ばれました(ヤコブ2:23)。神様は、人が自分の友と語るようにモーセに語られました(出エジプト記33:11)。神様はだれをも深く永遠に愛してくださいますが、だれもが神様の友とみなされるわけではありません。子どもたちが真の友となるまでには、成長にしばらく時間がかかります。同様に、私たちが神様の友となるためにも、私たち自身が時間をかけて成長しなければなりません。アブラハムやモーセや弟子たちは、それぞれが成長して主の友として知られるようになったのです。

讃美歌 351

祈 り お父様。イエス様を通じて私たちを引き寄せてくださることに感謝します。あなたのそばへ住まい、あなたの友人になりたいです。
イエス様の御名において。アーメン。

ブルース・グリーン
カンザス州 オブリカ

9月3日(日)

罪 無 く し て

聖書朗読 ヨハネ 19:1~9

「私はこの人には罪を認めません。」 ヨハネ 19:6

イエス様の最後の日について読むのは、私にとって聖書の中で一番辛いところです。弟子たちが書いた福音には、イエス様が打たれ、拷問され、裁判では無実の罪に落とされる様子が描写されています。それらは読むに堪えません。しかし、ピラトの一言、『私はこの人には罪を認めません。』(ヨハネ19:6)というのを読むとき、それがいつも私の心を打ちます。

ピラトがイエス様に罪は無い、と言ったのは正しいことでした。イエス様は訴えられていることに対して、完全に無実でした。イエス様はユダヤ人の王であって、それは罪ではなく、真実でした。イエス様の人生において、神様に違反することも罪もありません。では、私の人生ではどうでしょうか？そしてあなたの人生では？私たちはイエス様のようにはいきません。

ピラトの法廷で罪と定められたのは、イエス様の罪ではなく、私たちの罪だったのです。イエス様はご自分の罪ではなく、私たちの罪をあがなうために死にました。兵士たちの残酷な仕打ちに会いながら、イエス様は罪の重荷に耐え、神様のご意志にすなおに従われました。ですから今日、私たちはイエス様の恵みに感謝を示しながら生きなければなりません。

讃美歌 493

祈 り 私たちのお父様。イエス様を犠牲にしてくださったことに感謝します。私たちの身代わりとして、イエス様の死を受け止めてくださったことに感謝します。祈りをもって感謝し、あなたが私たちにくださったことへお返しするために生きます。

イエス様の御名において。アーメン。

チャド・エゼル
テネシー州 ミラン